

小学校六年

チャレンジ 話すこと・聞くこと

この音声問題は、第六学年国語問題の冒頭に放送するものです。

はじめに、小学校六年国語「話すこと・聞くこと」にチャレンジしましょう。

今から一回だけ、問題を放送します。よく聞いて、あとの問題に答えてください。問題用紙は開かないでください。聞いていて大切だと思うことは、表紙のあいているところにメモをしてもかまいません。

竹下さんの学級では、卒業を控え、これまでお世話になった学校に、何か恩返しをすることができないか話し合っています。学級での話し合いに向けて、まず、グループごとに意見を出し合うことになりました。あなたは、このグループの意見を学級の話し合いで報告することになっています。

司会 司会の山田です。よろしく願います。これから、「お世話になった学校にどんな恩返しをするか」というテーマで話し合いを始めます。意見はありませんか。では、竹下さんお願いします。

竹下 はい。わたしは校庭にある花壇に、春に咲く花を植える活動をしたらいと思います。理由は、花壇をきれいな花でいっぱいになれば、それを見た在校生たちが喜んでくれると思うからです。

司会 ありがとうございます。花壇に花を植えるという意見でした。では、次に今村さんどうぞ。

今村 はい。ぼくはもっと楽しくて、みんなの思い出に残ることをしたらよいと思います。例えば、全校児童とするドッジボール大会とか。一年生から六年生までみんなで楽しめると思います。

司会 ありがとうございます。ドッジボール大会など思い出に残ることをするという意見でした。他にありませんか。では、木下さんどうぞ。

木下 確かに楽しい思い出を残すことも大切ですが、学校に恩返しをするという目的を考えると、自分たちが楽しむだけではいけないと思います。竹下さんの意見のように学校の環境をよくすると同時に、今村さんの意見のように自分たちの思い出にも残る活動ができればよいと思います。

司会 ありがとうございます。竹下さんと今村さんの意見を組み合わせた活動をしたらいいのではないかと思います。何かという提案だと思います。では、木下さん、何か具体的に考えていることはありますか。

木下 はい。わたしは、校庭の花や木にネームプレートを取り付けたらよいと思います。この学校にはたくさん花や木がありますが、その名前を知っている人は少ないようです。花や木のネームプレートがあれば、みんながもっと花や木に親しめるようになると思います。また、自分たちで花や木の名前を調べてネームプレートを作るのは楽しそうですし、卒業のよい記念にもなると思います。

司会 ありがとうございます。今の木下さんの意見についてどう思いますか。竹下さんどうぞ。

竹下 はい。わたしは木下さんの意見に賛成です。その活動なら学校への恩返しにもなるし、自分たちの思い出にも残ると思うからです。

司会 放送はこれで終わります。今、話し合った内容をまとめて、学級へ報告したいと思います。

それでは、問題用紙を開いて始めてください。